

「学校の教育活動」評価票（4点満点）

1【保護者の部】

【7月】平成27年夏季休業中の懇談にて実施

	岐南中学校の教育活動についてどう感じですか	H27 7月	H26 12月	H26 7月
1	学級・学年通信、学校便り、掲示物などから、学校の願いや生徒の様子がわかる。	3.37	3.23	3.38
2	校舎内外の整備や整理整頓、清掃など、安全と美化への配慮がある。	3.38	3.30	3.40
3	生徒に力がつくよう、熱意や工夫のある授業が行われている。	3.18	3.03	3.12
4	基本的な生活習慣（ルールやマナー、挨拶など）に関する指導とともに、豊かな心を育てる指導が行われている。	3.20	3.18	3.20
5	やりとげた喜びや集団のよさを味わえるようにするとともに、活動を自分たちで計画し実践する力を育てる指導が行われている。	3.32	3.28	3.30
6	いじめや仲間はずしなどが無い学校づくりが行われ、問題が生じた場合には適切な指導が行われている。	3.02	3.04	3.12
7	一人一人に目を向け、生徒・保護者に対して相談活動や助言が行われている。	3.28	3.14	3.20
8	災害や事故などへの対応が適切に行われている。	3.31	3.16	3.28
9	「知育・徳育・体育」のバランスのとれた教育活動が行われている。	3.21	3.13	3.21
10	家庭や地域の理解を得ながら、家庭や地域と協力して教育活動が行われている。	3.26	3.15	3.23

	お子さんの学校生活に対する満足度をどう感じですか	H27 7月	H26 12月	H26 7月
1	学習について	2.79	2.57	2.76
2	友達関係について	3.06	3.20	3.23
3	先生について	3.50	3.39	3.40
4	学校行事や生徒会活動について	3.33	3.21	3.22
5	部活動について	3.39	3.07	3.18
6	学校生活全体について	3.23	3.19	3.19

保護者からのご意見(自由記述)

- ・やる気はあるようだが、やろう！と行動するまで時間がかかりすぎである。
- ・学校生活のことを子どもが何も言わないのでよくわからないです。
- ・お便りを出してくれないため、わからない部分が多く、申し訳ありません。
- ・部活動の規則を明確にしてほしい。
- ⇒部長会を通して、行っていきます。
- ・部活が少なく感じます（グラウンド練習が多い）。もっとバレーボールができる環境を与えて頂きたいです。
- ・部活の日数が3日では少ないので、もう少し活動してほしいです。
- ・部活の日にちが少ない。
- ・部活のリズムが毎日のようにバラバラで、生活のリズムがつくりにくい。
- ⇒部活動については、できる限り部活の時間を確保できるように計画しています。体育館使用部は、体育館使用のローテーションを組んで実施しています。ご理解願います。

・メールでのお知らせが、もう少しあるとありがたいです。資源回収等、地域放送が室内だけという事は、大半が聞こえないという事です。地域の方にも知らされず、回収されないという事が、昔もあったので、外で放送、メール等お願いしたいと思います。

⇒メールについては、よりよい活用の仕方をPTAと検討します。岐南町広報「屋外」放送の利用については、PTAからも岐南町役場へ要望しました。

・トイレに行く時間がない、図書室や職員室に行く時間がないと言います。もう少し、ゆとりをもたせてもいいのでは？

⇒開始時間厳守とともに終了時間厳守の意識を高め、休み時間の確保に努めます。

・先日、中学生が自殺するという悲しい事があり、その子は先生に、だいぶ前から、信号を送っていましたが・・・。大半の子どもは、先生にも親にも言えず・・・ということが多いと思います。

・心配な時です。何かあれば連絡をこまめにいただければ幸いです。

・校長先生が、岐南中は落ち着いていると言われますが、どこを見て落ち着いていると言えるのかわかりません。やんちゃな子より、おとなしい子のケアをお願いしたいです。

・学校が全体のレベルの中で低いと聞き、心配です。

⇒「4 結果について」にて、重点として取り組む内容を記載しました。

・少し前に西小東側の踏切で、雨の日に自転車通学の女の子が転んで危なかったのを見ましたので、よく車も通りますし、毎日、見守りが必要だと思います。

⇒生徒への安全指導を適宜行っておりますが、指導をより充実させます。平成26年11月に、危険個所の改善要望として岐南町役場及び教育委員会へ文書を提出しています。また、定期的に職員による立哨指導をしております。

・学年通信の「まごころ」の字が読みづらい、他のお母さんからも聞いたことがあります。

・学年通信「まごころ」から、子どもたちの様子や先生方の思いが伝わり、いつも楽しみに読ませていただいています。

・朝、校長先生がゴミを拾っている姿を見て、子どもが感心していました。自ら動く生で、お手本として見れているので、親としてありがたいと思っています。

・適切で親切なアドバイスを先生にして頂き、ありがとうございました。

・先生、お身体、大切にしてください。

・先生方は働きすぎです。休みはしっかり休んでください。

・楽しそうに学校に行ってくれているので、とても良いと思います。

2【教職員の部】

【7月】平成27年夏季休業中に実施

・教職員＞保護者の評価（表中△）

・教職員＜保護者の評価（表中○）

	岐南中学校の教育活動についてどう感じですか	H27 7月	H26 12月	H26 7月
1	学級・学年通信、学校便り、掲示物などから、学校の願いや生徒の様子がわかる。	△ 3.43	3.44	3.32
2	校舎内外の整備や整理整頓、清掃など、安全と美化への配慮がある。	○ 3.00	3.06	3.04
3	生徒に力がつくよう、熱意や工夫のある授業が行われている。	○ 3.07	3.06	3.00
4	基本的な生活習慣（ルールやマナー、挨拶など）に関する指導とともに、豊かな心を育てる指導が行われている。	○ 3.07	3.06	3.07
5	やりとげた喜びや集団のよさを味わえるようにするとともに、活動を自分たちで計画し実践する力を育てる指導が行われている。	○ 3.00	3.06	3.00
6	いじめや仲間はずしなどが無い学校づくりが行われ、問題が生じた場合には適切な指導が行われている。	△ 3.23	3.18	3.36
7	一人一人に目を向け、生徒・保護者に対して相談活動や助言が行われている。	○ 3.27	3.18	3.11

8	災害や事故などへの対応が適切に行われている。	△	3.37	3.18	3.25
9	「知育・徳育・体育」のバランスのとれた教育活動が行われている。	○	3.07	3.03	2.96
10	家庭や地域の理解を得ながら、家庭や地域と協力して教育活動が行われている。	○	3.20	3.29	3.20

3 学校生活に関する満足度

	学校生活に対する満足度をどう感じですか	生徒	保護者	教職員
1	学習について	2.98	2.79	2.72
2	友達関係について	3.46	3.06	2.92
3	先生について	3.33	3.50	3.00
4	学校行事や生徒会活動について	3.20	3.33	3.40
5	部活動について	3.40	3.39	3.12
6	学校生活全体について	3.32	3.23	2.96

4 結果について

保護者の皆様には、学校教育評価にかかわり、ご協力いただきありがとうございました。明らかになった課題は、「学習・授業」に関わる項目と「いじめや仲間はずしなど友人関係」に関わる項目において、低い傾向が、毎年継続しているということです。特に「学習」については、生徒、保護者共に満足度が低いことが、明らかになりました。現状を謙虚に受け止め、以下の3項目を重点とし、着実に改善を図っていきます。

1 学習・授業について

「わかる」「できる」授業をめざして日々教材研究に努めていますが、どのような授業を行っているのかを教師の側ではなく、生徒の側からの視点で振り返る必要があると考えます。以下のことを中心に、全校体制で授業改善を進め、教師一人一人の教科指導力や資質の向上に努めていきます。

- (1) 今日の授業で「何をすればよいか」「何がわかればよいか」等を理解できる学習課題を提示する。
- (2) すべての生徒が「わかった」「できた」と実感できる学習活動を位置付ける。
- (3) 生徒の学習状況の把握と一人一人の状況に応じた個別支援と見届けをする。
- (4) 学習課題に応じて、ペア・小グループ・生活グループなど少人数グループを活用した学習形態を取り入れる。
- (5) 時間着席の習慣や授業中の正しい姿勢の徹底、発表の仕方や聞き方など学習姿勢について、意味を理解させたり、一人一人のよさを位置付けたりしながら、学習規律を身に付けさせる。

2 いじめや仲間はずしなど友人関係について

「いじめは、どんな理由があっても絶対に許されない」「いじめは、どの子も被害者にも加害者にもなり得る」という認識を教職員一同が強くもって指導に当たります。

具体的には、すべての生徒が参加・活躍できる授業や活動、行事を通して、自己の存在感や充実感を感じられる、一人一人の居場所をつくっていきます。さらに、生徒が主体的に取り組む活動を通して、互いのことを認め合ったり、心のつながりを感じ合ったりする絆をつくり、未然防止に努めます。

早期発見では、日頃から相談・いじめを訴えやすい雰囲気をつくることや、表情・態度、様子に目を配り、些細な変化や危険信号に気付き、見逃さないなど、今まで以上に慎重に行います。

また、いじめが起きた場合は、管理職への報告と対応の役割、方針の共通理解など、迅速に対応します。その際、事実関係の把握や、いじめられた生徒とその保護者・いじめた生徒とその保護者への指導支援等は、複数の教師で行います。さらに、いじめが終わったと考えず、以後も支援を継続し、見届けます。

3 教職員の資質向上について

(1) 組織で教師の資質を向上させる。

①公開授業を行い、互いの授業を参観し合う機会を位置付ける。

②教科部会を軸に、よい授業について研修を重ね、P D C Aのサイクルで授業改善を行う。(外部講師の派遣)

③学年会にて、生徒理解を通して付けたい力を明確にし、活動、評価について、共通理解・共通行動をとる。

④若手教職員研修、ベテラン教師から学ぶ機会を位置付ける。

(2) 管理職、主幹教諭、教務主任、生徒指導主事による授業参観を行い、個別に指導する。